



2020年11月27日

「MAZDA CX-30」が「タイランド・カー・オブ・ザ・イヤー2020」を受賞

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクロスオーバーSUV「MAZDA CX-30」が、このたび、「タイランド・カー・オブ・ザ・イヤー2020」(主催:タイ自動車ジャーナリスト協会)を受賞しました。マツダ車による同賞の受賞は、2019年のMAZDA3に続いて2年連続、初めての受賞となった2016年のCX-3から数えて3回目となります。



MAZDA CX-30

「タイランド・カー・オブ・ザ・イヤー2020」では、60名以上の自動車ジャーナリストによる採点の結果、7車種の最終候補の中から、CX-30が選出されました。

CX-30は、マツダのデザインテーマ「魂動デザイン」を具現化したエレガントなスタイルと、SUVらしい力強さを融合させたコンパクトクロスオーバーです。ボディ曲面に映る景色がクルマの動きや場所、季節に合わせて美しく変化することで、生命感を表現しています。また、大人4人がゆったりと過ごせる室内空間と高い静粛性、細部までこだわった質感の高いインテリアなどが、大切な人と過ごす時間に彩りを添えます。

タイ向けのCX-30は、2020年2月からタイの「オートアライアンス(タイランド)Co. Ltd.」で現地生産を行っています。

マツダは今後も、クルマ本来の魅力である「走る喜び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上